

弦打ゆめづくり新聞

弦打校区コミュニティ協議会
 会ゆめづくり推進事業実行委員会発行▽〒761-8032 高松市鶴町356-3▽TEL 0871-88210285

2015年度高松市ゆめづくり事業

弦打校区に優秀賞 前年度大賞に続く入賞



大西高松市長(右)から優秀賞の表彰を受ける大西会長(中央)と英委員長

高松市の22コミュニティ協議会が地域の課題解決に取り組む2015年度「ゆめづくり推進事業」の表彰式が2月25日に高松市役所で行われ、弦打校区コミュニティ協議会提案の「『歩こう!訪ねよう!弦打再発見!』孔雀藤(くじゃくふじ)子孫育成と今昔めぐり藤のまち弦打マップ事業」が優秀賞に選ばれた。前年度の大賞に続き2年連続の入賞となった。

弦打校区の事業は、岩田神社の孔雀藤の子孫を育成し、地域の自然と触れあうことで豊かな心や郷土愛を育む▽「再発見ノート」を活用したワークショップや関連設備の整備に取り組んだことが評価された。

表彰式では大西市長から大西弦打校区コミュニティ協議会会長と英ゆめづくり委員長に表彰状と記念品が贈られた。

地域コミュニティ・協働セミナーの模様は高松市のホームページ「もつと高松」の高松ムービー(動画)チャンネル↓過去のLIVE配信で見られる。

特別号外

なお、大賞にはむれコミュニティ協議会提案の「むれ再発見プロジェクト事業」、優秀賞には弦打校区のほかに仏生山地区コミュニティ協議会の

弦打効果アピール セミナーで事業報告



元気な弦打をアピールする、つるピーサポーター

ゆめづくり大賞表彰式の後、同じ会場で「地域コミュニティ・協働セミナー」が開かれ弦打校区コミュニティ協議会など4団体が事業を報告。弦打校区のプレゼンテーションが最初に行われ、プロジェクトを使い「再発見ノート作成」、「孔雀藤子孫の育成」の2事業から、つるピー着

ぐるみ誕生▽高松まつり総おどり参加▽「歴史散歩」出版▽「ゆめづくり新聞」発行など、さまざまな波及効果を英委員長が紹介した。発表の途中からは「つるピー」と「つるピーサポーター」の子ども7人が登場して、元気な弦打をアピール。会場からは、つるピー着ぐるみの資金集めの方法やゆめづくり新聞の製作についての質問があった。

この後、塩江地区の「しおのえの歴史・文化資料の収集・保存及び展示事業」の発表があり、香川大学経済学部の西成准教授が講評して前半を終えた。(2面に西成准教授のセミナー前半の講評詳報)